

**畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業のうち
畑作物産地生産体制確立・強化整備事業
(国内産いもでん粉工場生産性向上整備事業)
審 査 基 準**

国内産いもでん粉工場生産性向上整備事業については、以下の 1 及び 2 の観点で応募主体から提出された申請書類の審査を行い、補助金等交付候補者を決定することとする。

1. 事業の効果

事業実施計画書の優先順位付けについては、次の指標により事業の効果をポイント化し、ポイントの高い順に優先させる。

合計ポイントの算定に当たっては、同じメニューの中の達成すべき成果目標基準、成果目標に対する現況値のポイント及び共通メニューの加算ポイントを合計するものとする。

なお、合計ポイントが等しい事業実施計画書があった場合は、事業実施計画書における事業費に対する成果目標の効果が高い事業実施計画書を上位とする。

国内産いもでん粉工場の生産性向上整備に係るポイント

メニュー	類別	達成すべき基準及びポイント
1. 労働生産性の向上	達成すべき成果目標基準	<ul style="list-style-type: none"> ・労働生産性を 2 % 以上向上 <ul style="list-style-type: none"> 10 % 以上 10 ポイント 8 % 以上 8 ポイント 6 % 以上 6 ポイント 4 % 以上 4 ポイント 2 % 以上 2 ポイント
	成果目標に対する現況値	<ul style="list-style-type: none"> ・過去 5 年間ににおける労働生産性の平均と比較して 1 % 以上高い <ul style="list-style-type: none"> 5 % 以上 5 ポイント 4 % 以上 4 ポイント 3 % 以上 3 ポイント 2 % 以上 2 ポイント 1 % 以上 1 ポイント
2. 輸送体系の確立	達成すべき成果目標基準	<ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業時間を 1 トン当たり 10 % 以上削減 <ul style="list-style-type: none"> 30 % 以上 10 ポイント 25 % 以上 8 ポイント 20 % 以上 6 ポイント 15 % 以上 4 ポイント 10 % 以上 2 ポイント
	成果目標に対する現況値	<ul style="list-style-type: none"> ・過去 5 年間ににおける荷役作業時間の 1 トン当たりの平均時間より 5 % 以上低い。 <ul style="list-style-type: none"> 25 % 以上 5 ポイント 20 % 以上 4 ポイント 15 % 以上 3 ポイント 10 % 以上 2 ポイント 5 % 以上 1 ポイント

3. 衛生管理の高度化	達成すべき成果目標基準	・衛生管理の高度化 HACCP 等認定（民間認証を含む。）を取得すること ・ ・ ・ ・ ・ 10 ポイント HACCP に沿った衛生管理の実施 ・ ・ ・ ・ ・ 5 ポイント
	成果目標に対する現況値	・衛生管理の実施状況 自社基準により衛生管理を実施 ・ ・ ・ ・ ・ 5 ポイント
4. 輸出の拡大	達成すべき成果目標基準	・でん粉製造量に占める輸出量を 2 % 以上増加 10 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 10 ポイント 8 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 8 ポイント 6 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 6 ポイント 4 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 4 ポイント 2 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 2 ポイント
	成果目標に対する現況値	・過去 5 年間ににおけるでん粉製造量に占める輸出量の平均と比較して 1 % 以上高い 5 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 5 ポイント 4 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 4 ポイント 3 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 3 ポイント 2 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 2 ポイント 1 % 以上 ・ ・ ・ ・ ・ 1 ポイント
5. 共通	加算ポイント みどりの食料システム法の計画認定について	・事業実施主体の構成員が、みどりの食料システム法に基づく環境負荷低減事業活動計画、特定環境負荷低減事業活動実施計画、基盤確立事業実施計画のいずれかの認定を受けている場合又は令和 7 年度までに認定を受ける見込みがある場合。 ・ ・ ・ ・ ・ 3 ポイント

2. 事業内容及び応募者の適格性等

①事業実施計画書の妥当性、②申請経費の妥当性、③応募者の適格性について、担当職員が取りまとめた所見を参考とし、選定審査委員が採択候補となり得るか否か総合的に判断する。